



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社

コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO (氏名) 三枝 匡

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員・CFO (氏名) 真田 佳幸

TEL 03-3647-7124

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	31,369	9.1	4,046	△4.3	4,285	2.5	2,463	△4.8
23年3月期第1四半期	28,756	61.7	4,229	—	4,179	—	2,588	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,456百万円 (11.5%) 23年3月期第1四半期 2,204百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	27.51	27.41
23年3月期第1四半期	29.18	29.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	104,827	86,179	81.7
23年3月期	107,551	84,275	77.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 85,672百万円 23年3月期 83,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.70	—	10.50	20.20
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.20	—	11.80	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	65,500	11.6	7,700	△11.5	7,700	△9.3	4,550	△8.0	50.86
通期	139,000	14.7	16,700	7.3	16,700	9.6	9,800	8.8	109.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	90,044,684 株	23年3月期	89,853,084 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	385,437 株	23年3月期	385,333 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	89,538,875 株	23年3月期1Q	88,721,042 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産活動の大幅な低下に加え、原子力発電所の事故に起因する全国的な電力不足によって甚大なる損害を受けました。また、震災による供給網の寸断は、国内のみならず海外各国の生産活動に対しても大きく影響を及ぼすに至りました。さらに、これまで強い経済成長を続けてきた中国は金融政策の引き締めなどにより実質GDP成長率がやや減速し、欧米においても経済成長が減速感を示すなど、世界経済の景気回復の勢いは大幅に後退しました。当社グループの顧客である機械製造業界においても、国内輸出企業を中心とした設備投資や、アジア各国における生産活動が伸び悩む厳しい情勢となりました。

このような環境の中においても、当社グループは高品質・短納期・低価格を追求するとともに高い納期遵守率によって売上を拡大することができました。さらに、海外の全現地法人に導入したウェブカタログやウェブ受注システムにより、「設計時間・発注の手間を削減したい」という顧客の潜在ニーズに応えるなど、価格だけでなく利便性の向上にも取り組んでいます。国際市場では、アジアを中心に営業拠点を拡充することで販売力を強化すると同時に、最適調達を目的とした現地生産・現地調達の取り組みも着実に実を結んでおり、売上高を引き続き伸長することができました。

この結果、連結売上高は313億6千9百万円、対前年同期比で26億1千3百万円(9.1%)の増収となりました。利益面につきましては、営業利益は40億4千6百万円、対前年同期比で1億8千2百万円(△4.3%)の減益、経常利益は42億8千5百万円、対前年同期比で1億6百万円(2.5%)の増益、四半期純利益は24億6千3百万円、対前年同期比で1億2千4百万円(△4.8%)の減益となりました。

・報告セグメントの業績

①自動化事業

主要顧客層である自動車業界及び液晶・半導体などのエレクトロニクス関連業界は、震災の影響によって生産活動が停滞し低調な稼動となりました。そのような状況下でも当社グループは国際市場においてミスミモデルを浸透させることで顧客数を拡大し、売上高は197億3百万円となり、前年同期比で19億3千6百万円(10.9%)の増収となりました。営業利益は30億4千4百万円となり、前年同期比で1億4千7百万円(△4.6%)の減益となりました。

②金型部品事業

金型部品事業も、主要顧客である自動車関連業界が国内で低迷し、アジア圏では成長が鈍化したことで売上高は67億5千7百万円となり、前年同期比では1億3千8百万円(2.1%)の増収となりました。営業利益は製造工程改善の取り組みなどによりコスト低減が進んだものの、5億6千万円となり、前年同期比では6千7百万円(△10.8%)の減益となりました。

③エレクトロニクス事業

エレクトロニクス事業も震災の影響を受けたものの、売上高は29億7千9百万円となり、前年同期比では2億2千8百万円(8.3%)の増収となりました。営業利益は4億4千6百万円となり、前年同期比では9百万円(2.1%)の増益となりました。

④多角化事業

多角化事業は、機械加工用工具・消耗品関連事業(ファクトリーサプライ事業部担当)、及び動物病院向け医療消耗品関連事業(㈱プロミクロス)より構成されています。ファクトリーサプライ事業の主力商品である超硬エンドミルの販売が好調に推移したことで、多角化事業の売上高は23億8千4百万円となり、前年同期比では1億5千4百万円(6.9%)の増収となりました。営業利益は1億4千6百万円となり、前年同期比では1千5百万円(11.5%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第1四半期連結会計期間の総資産は前連結会計年度に比べ27億2千3百万円減少し、1,048億2千7百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が26億4千3百万円減少したこと、商品及び製品が4億8千9百万円増加したことなどにより流動資産が21億9千2百万円減少したこと、無形固定資産が1億2千6百万円減少したこと、及び投資その他の資産が4億5千3百万円減少したこととであります。

総負債は前連結会計年度に比べ46億2千7百万円減少し、186億4千8百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等が29億5千3百万円減少したこと、支払手形及び買掛金が10億7千4百万円減少したこと、及び賞与引当金が4億1千7百万円減少したことなどにより流動負債が47億2千8百万円減少したこと、並びに固定負債が1億1百万円増加したこととあります。

純資産は前連結会計年度に比べ19億3百万円増加し、861億7千9百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が15億2千4百万円増加したこと、資本金が1億6千9百万円増加したこと、及び資本剰余金が1億6千9百万円増加したことなどにより株主資本が18億6千3百万円増加したこととあります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度の77.9%から81.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,763	33,119
受取手形及び売掛金	25,964	25,785
有価証券	4,866	4,870
商品及び製品	9,082	9,571
仕掛品	906	983
原材料及び貯蔵品	2,549	2,727
その他	3,177	2,862
貸倒引当金	△326	△127
流動資産合計	81,985	79,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,006	6,920
機械装置及び運搬具（純額）	3,338	3,497
土地	3,889	3,812
その他（純額）	838	891
有形固定資産合計	15,073	15,121
無形固定資産		
ソフトウェア	4,183	4,033
のれん	488	429
その他	247	330
無形固定資産合計	4,919	4,792
投資その他の資産		
投資有価証券	3,229	2,722
その他	2,462	2,514
貸倒引当金	△117	△116
投資その他の資産合計	5,573	5,119
固定資産合計	25,566	25,034
資産合計	107,551	104,827

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,567	7,493
短期借入金	900	900
未払法人税等	4,907	1,954
賞与引当金	1,660	1,242
役員賞与引当金	275	162
その他	4,249	4,079
流動負債合計	20,562	15,833
固定負債		
退職給付引当金	2,026	2,111
役員退職慰労引当金	424	439
その他	263	264
固定負債合計	2,713	2,815
負債合計	23,275	18,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,340	5,510
資本剰余金	15,112	15,281
利益剰余金	66,235	67,759
自己株式	△651	△651
株主資本合計	86,036	87,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	31
為替換算調整勘定	△2,252	△2,259
その他の包括利益累計額合計	△2,221	△2,228
新株予約権	460	506
純資産合計	84,275	86,179
負債純資産合計	107,551	104,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	28,756	31,369
売上原価	16,910	18,630
売上総利益	11,845	12,738
販売費及び一般管理費	7,616	8,692
営業利益	4,229	4,046
営業外収益		
受取利息	37	42
貸倒引当金戻入額	—	197
雑収入	64	30
営業外収益合計	102	271
営業外費用		
売上割引	5	8
為替差損	106	18
雑損失	38	4
営業外費用合計	151	31
経常利益	4,179	4,285
特別利益		
固定資産売却益	2	—
その他	0	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68	—
特別損失合計	68	—
税金等調整前四半期純利益	4,113	4,285
法人税等	1,525	1,822
少数株主損益調整前四半期純利益	2,588	2,463
四半期純利益	2,588	2,463

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,588	2,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	0
為替換算調整勘定	△335	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	8	—
その他の包括利益合計	△384	△6
四半期包括利益	2,204	2,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,204	2,456
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						四半期連結 損益計算書 計上額
	自動化事業	金型部品事業	エレクトロ ニクス事業	多角化事業	計	調整額	
売上高							
外部顧客への売上高	17,767	6,619	2,750	2,230	29,367	△611	28,756
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,767	6,619	2,750	2,230	29,367	△611	28,756
セグメント利益	3,192	628	437	131	4,389	△160	4,229

2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上	金額
報告セグメント計	29,367
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△611
四半期連結損益計算書の売上高	28,756

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,389
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△195
その他の調整額	35
四半期連結損益計算書の営業利益	4,229

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						四半期連結 損益計算書 計上額
	自動化事業	金型部品事業	エレクトロ ニクス事業	多角化事業	計	調整額	
売上高							
外部顧客への売上高	19,703	6,757	2,979	2,384	31,825	△456	31,369
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,703	6,757	2,979	2,384	31,825	△456	31,369
セグメント利益	3,044	560	446	146	4,198	△152	4,046

2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上	金額
報告セグメント計	31,825
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△456
四半期連結損益計算書の売上高	31,369

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,198
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△99
その他の調整額	△52
四半期連結損益計算書の営業利益	4,046

(補足情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	北米・南米	ヨーロッパ	計
21,011	5,973	1,123	648	28,756

- (注) 1 売上高は当社及び連結子会社の本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア・・・台湾・シンガポール・中国・タイ・韓国・他のアジア諸国
 (2) 北米・南米・・・アメリカ・カナダ・南米諸国
 (3) ヨーロッパ・・・イギリス・ドイツ・他の欧州諸国

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	ベトナム	その他	計
10,170	2,011	1,776	13,958

2 のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	自動化事業	金型部品事業	多角化事業	計
当第1四半期 連結累計期間償却額	54	△9	2	46
当第1四半期末残高	653	△31	0	623

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米・南米	ヨーロッパ	計
22,331	6,876	1,231	929	31,369

- (注) 1 売上高は当社及び連結子会社の本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア・・・台湾・シンガポール・中国・タイ・韓国・他のアジア諸国
 (2) 北米・南米・・・アメリカ・カナダ・南米諸国
 (3) ヨーロッパ・・・イギリス・ドイツ・他の欧州諸国

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	ベトナム	その他	計
11,265	2,158	1,698	15,121

2 のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	自動化事業	金型部品事業	計
当第1四半期 連結累計期間償却額	61	△1	59
当第1四半期末残高	429	△0	429

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。